

令和 7 年 9 月 26 日
教 育 委 員 会 事 務 局
教育施設課長 赤羽 孝史
電話 （ 6 7 1 ） 3 2 3 0

小中学校整備費の決算推移(2022年度以降)

校舎の新增改築等の推移(2022年度以降の決算額)

	2022年度		2023年度		2024年度	
	事業費(決算)	実施校数	事業費(決算)	実施校数	事業費(決算)	実施校数
小中学校整備費	9,200,316,520		14,055,332,253		13,035,207,058	
新築	0	0	0	0	0	0
増築	0	0	82,151,104	1	489,202,973	2
建替	6,335,515,996	6	11,362,600,564	13	9,221,052,899	15
その他	2,864,800,524		2,610,580,585		3,324,951,186	

資料2

令和7年9月26日
教育委員会事務局
教職員人事課長 片山 哲夫
TEL 671-3226

学級数、教員数（正規・臨任別）及びTT／少人数授業担当教員配当数推移等について

・学級数（令和7年5月1日）

（学級）

	学級数
小学校	7,237
中学校	2,559

※個別支援学級を含む。

・教員数（正規・臨任別）（令和7年5月1日）

（人）

	正規教員	臨任教員	教員計
小学校	9,651	789	10,440
中学校	4,282	428	4,710

※校長、副校長、講師、養護教員及び栄養教諭を含む。

※上記数値には、TT教員及び少人数授業担当教員を含む。

・TT／少人数授業担当教員配当数推移（各年度5月1日基準）

（人）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
小学校	483	471	292	221	202	189	144
中学校	336	338	344	346	362	365	356

学級編制基準の段階的引き下げの対象学年→ 小3 小4 小5 全学年

※35人以下学級実施のための配当数を含む。

※小学校における学級編制基準の段階的引き下げと、配当定数を「専科指導」に活用する
学校の増加に伴い、R3以降、小学校のTT／少人数授業担当教員配当数は減少している。

資料3

令和7年9月26日
教育委員会事務局
教育政策推進課担当課長 林 正隆
電話：671-3771

小中学校別の1学級当たりの児童・生徒数別学級数の年次別推移（過去3年）及び最新集計年度の各行政区別数値

○小学校 一学級当たりの児童数の規模別学級数の年次別推移

年度	計	1～10人	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41人以上
2024年度	7,086	1,583	182	830	2,486	1,846	159	－
2023年度	6,970	1,461	155	726	2,314	1,989	324	－
2022年度	6,876	1,347	110	677	2,124	2,103	515	－

○中学校 一学級当たりの生徒数の規模別学級数の年次別推移

年度	計	1～10人	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41人以上
2024年度	2,521	486	－	7	83	794	1,144	7
2023年度	2,523	461	－	4	84	759	1,212	3
2022年度	2,514	436	2	2	92	714	1,263	5

○小学校 行政区別一学級児童数別学級数

学級・行政区別	計	1～10人	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41人以上
2024（R6年度）	7,086	1,583	182	830	2,486	1,846	159	－
鶴見区	577	143	11	17	185	207	14	－
神奈川区	410	85	8	37	140	126	14	－
西区	177	43	3	23	66	39	3	－
中区	182	39	2	31	61	45	4	－
南区	340	87	13	44	130	58	8	－
港南区	402	94	15	76	127	87	3	－
保土ケ谷区	372	83	10	54	124	95	6	－
旭区	464	99	22	59	142	133	9	－
磯子区	334	81	13	45	116	73	6	－
金沢区	355	82	26	78	98	64	7	－
港北区	684	135	2	37	251	232	27	－
緑区	357	85	6	20	143	96	7	－
青葉区	600	111	4	59	253	164	9	－
都筑区	500	95	3	52	194	147	9	－
戸塚区	583	143	17	72	158	172	21	－
栄区	241	55	15	55	72	41	3	－
泉区	275	69	6	49	109	37	5	－
瀬谷区	233	54	6	22	117	30	4	－

○中学校 行政区別一学級生徒数別学級数

学級・行政区別	計	1～10人	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41人以上
2024（R6年度）	2,521	486	－	7	83	794	1,144	7
鶴見区	210	38	－	2	2	55	113	－
神奈川区	133	23	－	－	－	57	53	－
西区	46	10	－	－	10	16	10	－
中区	70	14	－	－	6	43	7	－
南区	132	33	－	－	6	60	33	－
港南区	162	33	－	－	8	49	71	1
保土ケ谷区	142	28	－	－	4	35	75	－
旭区	177	40	－	－	6	56	75	－
磯子区	114	22	－	－	8	31	53	－
金沢区	141	26	－	5	3	53	54	－
港北区	194	32	－	－	6	29	127	－
緑区	116	20	－	－	－	44	52	－
青葉区	206	35	－	－	15	48	108	－
都筑区	178	29	－	－	－	32	114	3
戸塚区	207	42	－	－	－	69	96	－
栄区	82	16	－	－	2	42	22	－
泉区	114	22	－	－	－	46	45	1
瀬谷区	97	23	－	－	7	29	36	2

出展：市立学校現況（5月1日現在）

教員一人当たりの生徒・児童数の指定都市比較（2年分）

令和7年度9月26日
教育委員会事務局長 林 正隆
推進担当課長 671-3771
電話

		5月1日現在																				
小学校		区分	札幌	仙台	さいたま	千葉	横浜	川崎	相模原	新潟	静岡	浜松	名古屋	京都	大阪	堺	神戸	岡山	広島	北九州	福岡	熊本
2023年度	1教員当たり児童数		16.8	15.8	18.9	16.6	16.5	17.9	16.3	15.4	15.8	16.5	16.0	14.9	13.8	14.7	15.9	14.9	15.8	15.0	17.5	15.7
2024年度	1教員当たり児童数		16.4	15.5	18.3	16.5	16.0	17.6	15.9	15.2	15.4	16.4	15.7	14.6	13.8	14.1	15.2	15.1	15.4	14.8	16.9	15.6
中学校		区分	札幌	仙台	さいたま	千葉	横浜	川崎	相模原	新潟	静岡	浜松	名古屋	京都	大阪	堺	神戸	岡山	広島	北九州	福岡	熊本
2023年度	1教員当たり生徒数		14.8	13.0	15.5	14.8	15.5	15.3	14.8	13.3	13.7	14.5	14.9	12.8	11.6	13.2	14.4	13.4	15.0	14.0	14.6	14.0
2024年度	1教員当たり生徒数		14.7	12.8	15.7	14.5	15.2	15.0	14.6	13.1	13.6	14.2	14.7	12.7	11.6	12.8	13.9	14.1	15.0	13.8	14.2	13.9

出展：文部科学省ホームページの数値を元に横浜市で算出

出展：文部科学省ホームページの数値を元に横浜市で算出

令和7年度における国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施状況について

自治体名	校種	学年	選択制	概要
北海道	中	1年		学年2学級以上で、1学級の平均生徒数が35人を超える学校で35人以下学級（市町村教委からの要望）
青森県	小・中	全学年		学年2学級以上の学校で33人以下学級
岩手県	中	全学年		35人以下学級
宮城県	中	1年		35人以下学級
秋田県	小	1～6年		学年2学級以上の学校で30人程度学級
	中	1～3年		学年2学級以上の学校で30人程度学級
山形県	小・中	全学年		学年2学級以上の学校で33人以下学級（市町村教委からの要望）
福島県	小	1・2年	○	30人以下学級
		3・4年	○	30人程度学級（33人での学級編制を可能とする定数を措置）
		5年・6年		34・35人で少人数指導を行う定数を措置し、教科担任制を実施
	中	1年	○	30人以下学級
		2・3年	○	30人程度学級（33人での学級編制を可能とする定数を措置）
茨城県	中	1～3年		児童生徒数35人を超える学級を3学級以上有する学校で35人以下学級
栃木県	中	全学年		35人以下学級
群馬県	小	1・2年		30人以下の学級編成を可能とする定数を措置
	中	全学年		35人以下の学級編成を可能とする定数を措置
埼玉県	中	1年	○	38人以下学級（市町村教委からの要望）
千葉県	中	1年	○	35人以下学級（市町村教委からの要望）
		2・3年	○	38人以下学級（市町村教委からの要望）
東京都	中	1年	○	学年2学級以上で、1学級の平均生徒数が35人を超える学年で35人以下学級
神奈川県	小	全学年	○	研究指定校において30人以下学級（前年度の学級数を維持する場合も対象）
	中	全学年		研究指定校において35人以下学級（前年度の学級数を維持する場合も対象）
新潟県	小	1・2年		32人以下学級（前年度の学級数を維持する場合も含む）
	中	全学年		35人以下学級（下限25人）
富山県	中	1年	○	35人以下学級（市町村教委からの要望）
石川県	中	1年	○	35人以下学級（市町村教委からの要望）
福井県	中	全学年	○	32人以下学級

別紙 1 - 1

令和 7 年度における国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施状況について

自治体名	校種	学年	選択制	概 要
山梨県	小	1～4 5年	○	学年2学級以上で、1学級の平均児童数が25人を超える学校で25人以下学級（市町村教委からの要望） （ただし5年生について、令和7年度は30人を基準とする。）
	中	1～3年		学年2学級以上で、1学級の平均生徒数が35人を超える学校で35人以下学級（市町村教委からの要望）
長野県	中	全学年		35人以下学級
岐阜県	中	全学年		35人以下学級
静岡県	中	全学年	○	35人以下学級
愛知県	中	1年		35人以下学級
三重県	小	1・2年		30人以下学級（下限25人）
	中	1年	○	35人以下学級（下限25人）。ただし、学年1～2学級の36人以上学級は解消
		2・3年	○	研究指定校において35人以下学級
滋賀県	中	1年		35人以下学級
		2・3年	○	35人以下学級
京都府	小	3～6年	○	30人程度学級
	中	全学年	○	35人以下学級
大阪府	中	全学年	○	研究指定校において35人以下学級
兵庫県	中	全学年	○	1学年を上限に35人以下学級（市町村教委からの要望）
奈良県	小・中	全学年	○	30人を超える学級で少人数学級編制を研究指定校として実施
和歌山県	中	全学年		35人以下学級
鳥取県	小	1～5年		30人以下学級
	中	1年		33人以下学級
		2・3年		35人以下学級
島根県	小	1年	○	30人以下学級
		2年	○	32人以下学級
	中	1年	○	35人以下学級
		2・3年		38人以下学級
岡山県	中	全学年	○	研究指定校において35人以下学級
広島県				
山口県	小	1年		学年4学級以上で、1学級の平均児童数が30人を超える学校で30人以下学級（市町村教委からの要望）
	中	全学年		
徳島県	中	1年		
		2・3年		研究指定校において35人以下学級
香川県	中	1～3年		35人以下学級
愛媛県	中	全学年		生徒数が概ね各学年200人を超える学校で、必要性を考慮した35人以下学級
高知県	小	1・2年		30人以下学級
	中	全学年		35人以下学級
福岡県	中	全学年		研究指定校において35人以下学級
佐賀県	中	1年		35人以下学級
	中	2・3年	○	35人以下学級
長崎県	小	1年	○	30人以下学級
	中	1年		
熊本県	中	1年	○	35人以下学級

別紙 1 - 1

令和 7 年度における国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施状況について

自治体名	校種	学年	選択制	概 要
大分県	小	1年		30人以下学級（18人下限）
		2年		30人以下学級（18人下限）
	中	1年		30人以下学級（20人下限）
宮崎県	小	1・2年		学年児童数が31～35人を除いた学校で30人以下学級
	中	1年		35人以下学級
鹿児島県	小	1・2年		学年児童数が31～35人を除いた学校で30人以下学級
	中	1年		生徒数36人以上の学級を2学級以上有する学校のうち研究指定校において35人以下学級
沖縄県	小	1・2年		30人以下学級（下限25人）
	中	全学年		35人以下学級
札幌市	中	1年		学年2学級以上で、1学級の平均生徒数が35人を超える学校で35人以下学級
仙台市	中	1～3年		35人以下学級
さいたま市	中	1年		研究指定校において38人以下学級
千葉市	中	全学年	○	38人以下学級
川崎市	中	全学年	○	研究指定校において35人以下学級（前年度の学級数を維持する場合も対象）
横浜市	小	全学年	○	30人を超える学級で少人数学級編制を研究指定校として実施
	中	全学年		
相模原市	中	全学年		研究指定校において35人以下学級（前年度の学級数を維持する場合も対象）
新潟市	小	1・2年		32人以下学級
		3・4年	○	32人以下学級（下限23人） 35人以下学級との選択可能
	中	全学年		35人以下学級（下限25人）
静岡市	中	全学年	○	35人以下学級
浜松市	小	1～3年	○	30人以下学級（下限25人）
	中	全学年	○	35人以下学級（下限25人）
名古屋市	小	1・2年		30人以下学級
	中	1年		35人以下学級
京都市	小	3～6年	○	30人程度学級
		1・2年	○	35人以下学級
		3年		30人以下学級
大阪市				
堺市	中	1・2年	○	1学級の平均児童数が38人を超える学年で、38人以下学級
神戸市	小			
岡山市	中	全学年	○	研究指定校において35人以下学級
広島市	中	1年		35人以下学級
北九州市	中	1年		35人以下学級
	中	2・3年	○	35人以下学級
福岡市	中	全学年		35人以下学級
熊本市	中	1年		35人以下学級

注1)「選択制」欄は、市町村の判断で、少人数学級又は少人数指導等の選択的な実施を認めている都道府県・指定都市。

注2)「研究指定校」における実施は、国の加配定数を活用して少人数学級を実施するなど、一部の学校を対象として実施している場合。

資料6

令和7年9月26日
教育委員会事務局
教育施設課長 赤羽 孝史
電話 (671) 3254

学校特別営繕費の年度別決算額(2020年度以降の年次別推移)

	西暦 年度	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	2024 6
体育館改修 (H31年度まで屋内運動場改修)		1,066,978,072	1,455,374,779	1,146,492,627	1,312,283,500	1,441,333,000
給食室改修 (H31年度まで給食室整備)		1,799,417,882	1,741,317,525	826,229,177	1,411,902,170	1,095,288,068
		-	-	(156,999,000)	(417,000,000)	-
トイレ改修		1,792,026,874	2,012,255,190	1,864,554,122	1,892,860,750	2,156,215,050
エレベータ設置		807,041,720	1,491,860,434	822,871,200	1,400,099,458	2,594,275,324
		(81,021,396)	-	-	(1,110,929,000)	(793,242,300)
安全対策事業		459,540,233	170,271,691	102,907,328	111,565,721	93,088,351
外壁・窓サッシ改修事業 (H31年度まで非構造部材 落下防止対策事業)		3,942,291,790	2,528,313,697	3,267,510,154	3,317,844,858	3,292,032,714
老朽校舎改修事業		1,502,074,321	2,108,820,736	2,336,469,810	2,920,886,110	2,610,736,810
学校営繕費(建築)		1,009,344,484	1,108,742,673	1,257,374,659	1,300,657,110	1,103,067,870
		(51,238,204)	-	-	-	(25,000,000)
学校営繕費(電気)		264,557,040	306,601,460	400,895,220	560,785,610	497,352,900
学校営繕費(衛生)		1,238,426,354	1,001,012,118	954,134,367	888,735,650	892,391,163
学校営繕費(その他)		221,203,109	189,370,483	264,053,448	447,286,656	496,232,479
屋外倉庫改築		57,874,501	55,070,202	59,252,573	72,631,700	120,540,500
		-	-	-	(31,792,992)	-
学校施設の整備及び保全事業		484,000	238,106	1,263,004	-	-
学校用地問題総合対策費		58,131,944	29,370,657	59,895,000	46,975,500	33,046,200
地域交流室設置推進事業		4,243,080	3,616,350	8,601,395	4,468,024	12,317,800
給食室大型備品更新		93,948,499	112,965,600	220,196,900	146,480,400	195,849,500
小工事費等特別配当		636,779,826	473,939,357	470,445,972	428,923,986	441,611,629
設監事務費		9,812,195	11,099,090	10,217,519	11,240,550	16,772,899
プール配管改修事業		-	776,710	-	847,000	-
屋内運動場空調設備設置調査委託		-	-	-	-	-
体育館空調設備設置事業		136,211,200	614,944,200	799,437,200	761,855,000	896,368,550
市立学校空調設備整備事業 (H31年度まで特別教室空調設 置事業)		693,316,545	1,354,458,041	804,959,205	1,053,994,029	273,907,635
		-	-	-	(37,000,000)	(76,174,006)
給食室空調整備モデル検証事 業(R5年度は給食室空調整備 検討費)		-	-	-	8,712,000	61,381,861
シャッター改修事業		211,774,970	161,627,400	372,200,400	420,140,050	-
		-	-	-	-	(369,145,260)
当初予算分合計		16,005,478,639	16,932,046,499	16,049,961,280	18,521,175,832	18,323,810,303
現計予算分合計(繰越+当初)		16,137,738,239	16,932,046,499	16,206,960,280	20,117,897,824	19,587,371,869

※網掛け部分は前年度からの繰越事業

資料7

令和7年9月26日
教育委員会事務局
学校給食・食育推進課
中学校給食推進担当課長 三石 晃司
TEL 671-4591

〇政令指定都市における中学校給食の状況

令和7年9月26日時点

(横浜市独自調べ)

「◎」は、主な実施方式

自治体名	区分		実施方法			
	完全給食		デリバリー (弁当)	センター	親子	自校調理
	全員喫食	家庭弁当との選択制				
札幌市	○				○	◎
仙台市	○			◎	○	○
さいたま市	○					◎
千葉市	○			◎		
川崎市 ※1	○			◎	○	○
相模原市 ※2	○	○	◎	○		
新潟市	○	○		◎	○	○
静岡市	○			◎		○
浜松市	○			○	○	◎
名古屋市	○	○	◎			○
京都市 ※3	○	○	◎		○	
大阪市 ※4	○				◎	○
堺市 ※5		○		◎		
神戸市 ※6		○	○	◎		
岡山市	○			○	○	◎
広島市 ※7	○	○	○	◎	○	○
北九州市	○				◎	
福岡市	○			◎		○
熊本市	○			◎	○	○

(参考)

- (※1) 川崎市は、家庭からの弁当を基本とするミルク給食を実施してきたが、H29年に3か所の給食センターを開設し、センター方式を主軸とした完全給食に移行(H29.9～)。
- (※2) 相模原市は、現在は6校(うち義務教育学校2校)でセンター方式、30校でデリバリー方式を実施。今後、給食センターを2か所新設し、全員給食に移行予定。
- (※3) 京都市は、選択制デリバリー方式(施設一体型の小学校併設校を除く。)を実施しているが、センター方式を主軸とし一部民間調理場の活用を取り入れた全員給食の実現に向けて検討中(R10年度中)。
- (※4) 大阪市は、デリバリー方式で実施していた中学校給食を、親子方式を中心に自校調理方式を組み合わせた「学校調理方式」へ移行する方針を示し、令和元年7月に全ての中学校の移行が完了。
- (※5) 堺市は、選択制デリバリー方式を実施しているが、現在2か所の給食センターを建設しており、センター方式による全員給食に令和7年6月に移行。
- (※6) 神戸市は、選択制デリバリー方式を実施しているが、民間調理施設方式、親子方式、センター方式による食缶方式の全員給食に順次移行予定(～R8.1)。
- (※7) 広島市は、自校方式、センター方式、選択制デリバリー方式を併用しているが、既存の給食センターの受配校の拡大や拡張建替え等により、デリバリー方式を廃止し、食缶方式による全員給食に順次、移行予定(R7年度中に完了)。

2 神奈川県市部(19市)における中学校給食の状況

- (1) 完全給食:19市
横浜(※)、川崎、相模原(※)、横須賀、平塚、鎌倉(※)、藤沢(※)、小田原、茅ヶ崎(※)、逗子、三浦、秦野、厚木、大和、伊勢原(※)、海老名、座間(※)、南足柄、綾瀬
(※ 横浜、相模原(一部)、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、伊勢原、座間は家庭弁当とデリバリー弁当の選択制)

資料8

令和7年9月26日
教育委員会事務局
中学校給食・食育推進課
中学校給食推進担当課長 三石晃司
TEL 671-4591

中学校給食事業費の総額と内訳（2024年度決算）

単位（円）

節	科 目	現計予算額	支出済額	主な内訳
1	報酬	2,277,000	10,593,879	会計年度任用職員雇用に係る経費
3	期末・勤勉手当	484,000	3,969,907	
4	共済費	484,000	1,907,837	
7	報償費	10,000	811,453	中学校での出前授業に対する報酬等
8	旅費	350,000	750,544	会計年度任用職員雇用に係る経費
10	需用費	117,957,000	266,746,912	中学校給食に関する消耗品等
11	役務費	2,684,000	49,341	緊急用携帯電話通信費
12	委託料	4,506,838,000	4,484,913,407	中学校給食調理・配送業務、サポートセンター運営、注文システム保守管理、決済対応経費、配膳室の整備等
13	使用料	1,397,000	305,250	献立改善会場費等
17	備品購入費	32,984,000	101,623,280	中学校給食の配膳に必要な配膳台の購入、牛乳保冷库の購入等
18	負担金補助及び交付金	6,600,000	3,237,190	学級閉鎖等に伴う中学校給食費のポイントバック等
19	扶助費	478,444,000	384,615,120	中学校給食による昼食支援等
計		5,150,509,000	5,259,524,120	

資料9

令和7年9月26日
教育委員会事務局
学校給食・食育推進課
中学校給食推進担当課長 三石 晃司
TEL 671-4591

中学校給食事業費における委託料の事業項目別の費用（2024年度決算）

細事業名称		支出済額（円）
1	給食の調理・配送業務等	3,310,743,569
2	中学校給食運用経費	27,048,074
3	サポートセンター運営費	16,108,977
4	システム保守管理費	82,990,182
5	衛生管理費	66,466,400
6	給食注文決済対応経費	41,917,070
7	広報経費	45,394,605
8	中学校給食用配膳室の整備費	894,244,530
計		4,484,913,407

資料10

令和 7 年 9 月 26 日
教育委員会事務局
不登校支援・いじめ対策課担当課長
麻野 仁
電話 671-3706

いじめ、校内暴力の発生件数、不登校児童・生徒数等の年次別状況(過去3年)

※令和6年度の数値が公表されていないため、令和5年度までのデータになります。

1 いじめの認知件数（市立小・中学校）

「神奈川県児童・生徒の問題行動等調査（公立小・中学校版）」による状況（横浜市）

(件)

	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)
いじめ認知件数	7,556	12,248	16,174

2 校内暴力件数（対教師、生徒間、対人、器物損壊（市立小・中学校）

「神奈川県児童・生徒の問題行動等調査（公立小・中学校版）」による状況（横浜市）

(件)

	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)
対教師暴力	374	403	445
生徒間暴力	4,046	3,898	5,034
対人暴力	10	20	24
器物損壊	580	618	661
計	5,010	4,939	6,164

3 不登校児童生徒の年次別状況について

「神奈川県児童・生徒の問題行動等調査（公立小・中学校版）」による状況（横浜市）

(単位：人)

区 分	小 学 校			中 学 校		
	児童総数	不登校数	出現率	生徒総数	不登校数	出現率
令和3年度(2021)	177,736	2,635	1.48%	78,002	3,981	5.10%
令和4年度(2022)	176,234	3,469	1.97%	77,719	4,701	6.05%
令和5年度(2023)	173,354	4,260	2.46%	77,102	5,515	7.15%

令和7年9月26日
教育委員会事務局
不登校支援・いじめ対策課担当課長
麻野 仁
電話 671-3706

「警察・学校相互連携に係わる協定書」にもとづく情報の提供数とその内容(2024年度)

1 「学校と警察の相互連携にかかる協定」に係る『連絡票』の発信・受信件数

(件)

年 度	発 信 (学校→警察)	受 信 (警察→学校)	計
令和6年度 (2024)	74	186	260

2 主な内容

(1) 学校から警察への情報

- ア 児童生徒の虐待被害防止・犯罪被害防止を目的とした情報提供
- イ 児童生徒の加害行為防止・犯罪防止を目的とした情報提供

(2) 警察から学校への情報

- ア 児童生徒の犯罪行為や触法行為による検挙・補導等に伴う情報提供
例：暴行傷害、窃盗、ひったくり、恐喝 等
- イ 暴走族等非行集団に関する事案
- ウ 児童生徒の虐待被害防止、身柄付通告等に伴う情報提供

就学援助を受けた児童・生徒数と比率（5ヵ年の推移）と、その政令市比較

年度	令和 2 年度				令和 3 年度				令和 4 年度				令和 5 年度				令和 6 年度			
	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人	援助率 (B/A)	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人	援助率 (B/A)	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人	援助率 (B/A)	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人	援助率 (B/A)	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人	援助率 (B/A)	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人	援助率 (B/A)	児童生徒数 (A) 人	認定者数 (B) 人
都市名																				
横浜市	255,995	32,355	12.6%	255,755	31,751	12.5%	251,484	30,446	12.1%	248,004	28,894	11.7%	247,055	27,068	11.0%					
札幌市	133,023	18,974	14.3%	133,332	22,100	16.6%	131,893	21,257	16.1%	131,893	20,513	15.6%	130,789	19,665	15.0%					
仙台市	77,277	8,060	10.4%	77,323	8,330	10.8%	77,037	9,343	12.1%	76,851	9,370	12.2%	122,894	8,887	7.2%					
新潟市	57,292	12,274	21.4%	56,854	11,200	19.7%	56,260	11,000	19.6%	55,437	10,328	18.6%	54,643	9,297	17.0%					
さいたま市	99,766	8,990	9.0%	100,417	8,609	8.6%	100,961	8,341	8.3%	100,909	8,095	8.0%	100,739	7,622	7.6%					
千葉市	69,566	6,729	9.7%	70,019	6,594	9.4%	69,340	6,088	8.8%	68,318	5,784	8.5%	67,280	5,502	8.2%					
川崎市	103,860	12,451	12.0%	104,140	12,164	11.7%	104,235	11,552	11.1%	103,578	11,034	10.7%	102,892	10,412	10.1%					
相模原市	51,476	7,742	15.0%	51,111	7,382	14.4%	50,459	7,218	14.3%	49,472	6,873	13.9%	48,632	6,676	13.7%					
静岡市	46,221	4,163	9.0%	47,065	4,101	8.7%	46,562	3,782	8.1%	49,127	3,638	7.4%	44,653	3,621	8.1%					
浜松市	62,663	5,003	8.0%	62,151	5,103	8.2%	61,465	5,175	8.4%	60,317	5,212	8.6%	59,188	5,327	9.0%					
名古屋市	161,732	21,489	13.3%	161,479	21,199	13.1%	160,785	21,095	13.1%	160,785	21,585	13.4%	158,434	25,085	15.8%					
京都市	88,171	16,240	18.4%	87,420	15,899	18.2%	86,157	15,033	17.4%	85,030	14,131	16.6%	83,495	13,266	15.9%					
大阪市	165,457	35,420	21.4%	165,773	34,374	20.7%	164,594	32,001	19.4%	163,836	30,471	18.6%	163,133	28,905	17.7%					
堺市	63,400	10,876	17.2%	62,697	10,445	16.7%	61,418	9,759	15.9%	60,439	9,463	15.7%	58,904	9,190	15.6%					
神戸市	108,393	17,411	16.1%	107,655	16,970	15.8%	106,359	16,037	15.1%	104,861	15,663	14.9%	102,952	14,754	14.3%					
岡山市	54,219	8,704	16.1%	53,902	8,840	16.4%	53,416	8,577	16.1%	52,461	8,261	15.7%	51,837	8,108	15.6%					
広島市	93,705	23,420	25.0%	93,204	22,873	24.5%	92,233	20,833	22.6%	90,927	19,674	21.6%	89,341	18,454	20.7%					
北九州市	68,707	12,496	18.2%	68,052	12,090	17.8%	67,522	11,787	17.5%	66,484	11,582	17.4%	65,365	11,079	16.9%					
福岡市	119,147	28,067	23.6%	120,753	27,978	23.2%	121,606	27,659	22.7%	121,639	27,274	22.4%	121,928	26,918	22.1%					
熊本市	59,748	9,647	16.1%	60,112	9,587	15.9%	60,047	9,279	15.5%	59,732	9,315	15.6%	59,538	9,096	15.3%					

資料13

令和 7 年 9 月 26 日
 教育委員会事務局
 学校経営支援課長 熊切 隆
 電話 6 7 1 - 3 5 8 8

学校図書館の利用状況

1 学校司書と、司書教諭をはじめとした教員との連携ができていると回答した学校の割合 (配置校アンケートより)

(単位：%)

連携項目	R 4	R 5	R 6
学校図書館の環境整備	97.7	97.0	97.0
学校図書館に置く図書資料や図書以外の資料(DVD、CD、新聞、雑誌等)の選定、収集	90.9	90.8	89.5
学校図書館利用の指導・ガイダンス	95.7	94.2	95.4
レファレンス・調べものの相談	86.9	87.1	89.7
授業のねらいに沿った資料の紹介、準備、提供	92.4	91.8	93.8
学校図書館を活用した授業や読書活動を位置付けた授業を行う教員との打合せ	87.0	85.9	88.5
授業への参加(ティーム・ティーチング等)	56.6	57.4	60.5
委員会活動やクラブ活動への助言	81.9	79.1	83.3

2 平均貸出冊数増加率 推移

(単位：冊)

年度	H24	H25 (事業開始年)	R 4	R 5	R 6
貸出冊数 (A)	287,952	1,101,631	3,639,337	3,535,029	4,021,160
回答校数 (B)	71	228	499	498	497
平均貸出冊数(A/B)	4,056	4,832	7,293	7,098	8,090
対前年度比	-	119.1%	102.0%	97.3%	114.0%
24年度との比較	-	119.1%	179.8%	175.0%	199.5%

3 学校図書館平均来館者数 推移 (人/年・校)

(単位：人)

年度	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
平均来館者数	10,674	8,536	8,209	8,850	11,358	11,431
来館者数 (人/年)	5,315,416	4,259,653	4,096,387	4,416,157	5,656,051	5,681,360
回答校数 (校)	498	499	499	499	498	497

資料14

令和 7 年 9 月 2 6 日
教 育 委 員 会 事 務 局
学 校 経 営 支 援 課 長 熊 切 隆
電 話 6 7 1 - 3 2 3 3

中学校柔道の授業での事故発生状況のまとめ（令和4年度～令和6年度）

《令和4年度》

学年	負傷部位	事故名	事故内容
1	頭部	脳震盪	相手の帯を片手で持ち、重心の崩し方を学習していたところ、帯を持った手が外れ立位のまま倒れ後頭部を強打した。
	頸部	捻挫	固め技を行った際、相手の抑え込みに対して逃げる動作をし、次の授業中、首に痛みが出て、その後、頭にも痛みが出た。
2	上肢	胸部打撲	体落としを掛けられて受け身を取ったところ、背中から打ち付けたため胸部に少し痛みがあり、違和感を感じた。その後、先生に「深呼吸すると胸に痛みがある」と申し出たことから負傷していることが判明した。
	下肢	左足親指付根骨折	体落としを掛けた後、自ら誤って左親指を垂直に畳に着いたため左足親指を負傷した。
	頭部	脳震盪	相手と組んで支えつり込み足の練習中、投げられた際、受け身が上手くいかず、後頭部を畳に打ち負傷した。
	頭部	打撲	大腰の練習で投げられたときに、受け身が上手く取れず後頭部を打った。
	その他	歯牙損傷	自由練習中、となりの生徒の頭と口元が衝突して歯がかけた。
	頭部	打撲	自由練習中、となりの生徒の口元と頭が衝突した。
3	上肢	右肘捻挫	自由練習中、投げ技（大腰）をかけたところバランスを崩し、勢い余って右手を床について倒れた。

《令和5年度》

学年	負傷部位	事故名	事故内容
2	下肢	左足人差し指骨折	受け身際、指を痛めた。
	頭部	軽度の脳震盪(頭部打撲)	大腰で投げられ受け身を取った際、頭部を打った。
	その他	腰部打撲	体落として投げられる際、上体を横向きのまま腰と股関節を畳に打った。
	頭部	脳振盪	体落としの練習で投げられた際、体側、背中、後頭部を畳にぶつけた。
3	その他	胸椎捻挫	背負い投げの受けをした際、取り側の失敗により回転不足となり、後頭部を畳にぶつけた。
	頸部	軽度の頸椎損傷の疑い	相手から背負い投げを掛けられたところ、受け身を取った際、後頭部(首筋付近)も畳に着地した。
	頸部	頸部6番目を骨折	相手から背負い投げを掛けられたところ、後頭部と背中を打った。

《令和 6 年度》

学年	負傷部位	事故名	事故内容
1	上肢	肩部打撲	前回り受け身の練習中に失敗して右肩から落ちた。
2	下肢	打撲・裂傷	畳の上ですり足の練習をしていたところ、畳と畳の間に右足親指が引っ掛かり負傷した。
	上肢	骨折	攻防を行っている中で崩したときに勢い余って投げられてしまい、肩を畳に強打した。
	下肢	爪剥がれかかる	立ち技の練習中に爪が剥がれかかった。生徒に接触か畳のへりに接触か分からず。
	上肢	骨折	投げ技の練習で、勢いよく投げて自分で右手小指を床にぶつけた。
	頭部	脳震盪	実技テストに向けた練習で、背負い投げをかけられた際、勢いが強かったので腰から落下、反動で後頭部を打った。
3	その他	左目打撲	試合中、相手のおでこが本人の左目上にぶつかった。
	頭部	打撲	体落としをかけられて、受け身がうまく取れず、首と後頭部を畳に打った。
	頭部・肩部	打撲	大腰の練習中、受け身がうまく取れず、肩から側頭部を畳に打った。
	頭部	打撲	試合中、倒された際に後頭部を打った。
	頭部	打撲	試合中、相手の頭部が本人の鼻と前頭部に当たった。
	下肢	肉離れ	横受け身の練習中、膝上部付近から音がした。上体を起こそうとしても動けなくなった。
	頭部	打撲	背中合わせで座り、合図で寝技に入る練習中、相手に背負われ投げられ受け身が取れずに頭部から落ちた。

R7年度 横浜市における日本語指導が必要な児童生徒教育・支援

学校経営支援課

1 横浜市における外国籍及び外国につながる児童生徒数（小・中・義務教育学校）

（5月1日現在）※R2のみ7月1日現在

	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
外国籍・外国につながる	11,252	11,303	11,667	11,982	12,386
外国籍	4,386	4,457	4,869	5,353	5,753
国別					
中国・台湾	2,573	2,639	2,915	3,247	3,487
フィリピン	409	377	390	415	429
ベトナム	255	283	282	281	316
韓国・朝鮮	261	244	226	229	221
ネパール	77	83	131	161	212
ブラジル	158	151	147	164	135
アメリカ合衆国	56	50	61	74	89
ペルー	84	81	82	82	87
インド	39	54	62	77	85
インドネシア	39	37	48	57	69
外国につながる	6,866	6,846	6,798	6,629	6,633

※国籍及びつながる国の総数：113 개국

日本語指導が必要	3,110	3,297	3,692	4,162	4,605
-----------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

※日本国籍、帰国児童生徒含む

2 国際教室担当教員配置校・非常勤講師・外国語補助指導員

○日本語指導が必要な児童生徒への指導を担当する教員を配置する。国際教室を設置し、日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行う【H4～】

★配置期間：1年間

★配置目安：日本語指導が必要な児童生徒数に応じて配置。

（H29より配置基準変更。外国につながる児童生徒も含む。）

★R7国際教室設置校(278校) 新規設置校(小)29校(中)9校

年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
国際教室担当教員配置校数	186	194	214	242	278
小学校	147	153	169	190	218
中学校	39	41	45	52	60

○日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に、在籍数に応じて「日本語指導が必要な児童生徒支援非常勤講師」を配置する【H25～】

○日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に、「外国語補助指導員」を配置する【H25～】

★R7「外国語補助指導員」配置校(19校)

生麦小、豊岡小、鶴見小、潮田小、東小、本町小、元街小、南吉田小、石川小、日枝小、太田小、滝頭小、霧が丘学園(前期)、飯田北いちよう小、相沢小、潮田中、老松中、港中、横浜吉田中

3 日本語支援拠点施設「ひまわり H29～」「鶴見ひまわり R2～」「都筑ひまわり R4～」

○プレクラス【H29～】：1747名の児童生徒が参加(H29年9月～R7年3月)

外国から、新たに転・編入学してきた児童生徒を対象に、1か月間、週3日の集中的な日本語の初期指導及び学校生活の体験を行う

年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
合計	108	87	295	374	476

○学校ガイダンス【H29～】：1741組の児童生徒・保護者が参加(H29年8月～R7年3月) 外国から、新たに転・編入学してきた児童生徒及びその保護者を対象に、英語、中国語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語による日本の学校生活等の紹介及び児童生徒の学習状況確認を行う

○就学前教室「さくら教室」(「ひまわり」のみ実施)【H29～】：のべ522組の児童・保護者が参加(H29～R6※) 日本語支援が必要な新小学1年生及び保護者を対象に、学校生活の体験と学校生活の紹介を行う。

3月第1、第2土曜日に実施 ※R1年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 横浜市日本語教室

- 日本語の初期指導が必要な児童生徒に対して、日本語指導資格をもった講師が指導を行う【S56～】
【集中教室(児童生徒が通級)】 Y校教室、豊岡教室、飯田北いちよう教室、並木第一教室、
 横浜吉田教室 月曜日～金曜日・週2回 計40～60コマ
【派遣指導(日本語講師を各小学校へ派遣)】 月曜日～金曜日・週1回 計30～55コマ
【日本語講師の対応言語内訳】 R7年度:50名(12か国語対応)
 英語(31) 中国語(30) スペイン語(10) 韓国語(6) ポルトガル語(4) フランス語(3) インドネシア語(2)
 タイ語(2) クメール語(2) ドイツ語(2) スウェーデン語(1) イタリア語(1)

★入級者数

年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
合計	453	385	612	730	814
集中教室	81	74	121	178	203
派遣指導	372	311	491	552	611

5 母語支援ボランティア活用事業

- 「母語による初期適応・学習支援」:対象となる日本語指導が必要な児童生徒へ母語のできるボランティアによる初期適応支援【H20～】・学習支援【H18～】を行う
【配当回数】対象児童生徒1人につき、国際教室のない学校50回まで、国際教室のある学校30回まで
 ○「母語による中期放課後等学習支援」:初期適応・学習支援実施後等の児童生徒へ放課後や長期休業期間中等に、母語のできるボランティアによる補習等の学習支援を行う【R2～】
 ○「保護者等通訳支援」:学校が見つけた母語支援ボランティアによる通訳支援【R2～】

6 学校通訳ボランティア(保護者対応)

- 市立小・中・義務教育学校における転入学の説明、個人面談、入学説明会、家庭訪問等での通訳を行う
 ○ボランティアの派遣は、公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)に業務委託【H18～】

★派遣実績(回)

※R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止として、派遣内容に大幅な制限を実施

年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
回数	157	669	939	1,067	1,218

7 各種ガイドブック等発行(配布・HP等掲載)

横浜市教育委員会HP掲載:

- 「ようこそ横浜の学校へ」【H24～】

- I 日本語指導が必要な児童生徒受入れの手引
 II 学校通知文・用語対訳集(※対訳あり)
 III 保護者の方へ～横浜の学校生活～(※対訳あり)
 ※7か国語対訳(英語、中国語、スペイン語、タガログ語、
 韓国・朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語)

- 「横浜市帰国児童生徒教育ガイド」【S56～】

- 「ひまわり練習帳1(清音編)・カード集」【R1

- 「ひまわり練習帳2(特殊音編)・カード集」【R3～】

※日本語支援拠点施設プレクラス独自教材

横浜市立小中学校に向け公開:

- 「ひまわりカリキュラム」【R5～】

- 「ひまわりスタートプログラム」【R5～】

- 「ひまわりスタートプログラムアニメーションスライド」【R6～】

8 日本語指導者養成講座・日本語指導者養成中級講座・リーダー養成講座

- 日本語指導の仕方、日本語指導が必要な児童生徒の受入れと指導等を主題とした教員研修
(1) 日本語指導者養成講座【H22～】(全7回、募集人員90名)
 ○全校対象(国際教室担当1年目の教員は悉皆参加)
(2) 日本語指導者養成中級講座【H30～】(全2回、募集人員50名)
 ○中級講座は全校対象
(3) 日本語指導者リーダー養成講座【R6～】(全5回、10名程度)
 ○リーダー養成講座は、国際教室経験3年以上、校長推薦を受けた教員を対象

9 日本語支援アドバイザー

- 国際教室での経験が豊かな職員が各学校を訪問し日本語指導についてアドバイスや研修等を実施【R3～】
 (1) 各学校を訪問し、管理職、担当教員等からの相談対応、授業へのアドバイス等
 (2) 各学校での校内研修等の講師
 (3) オンラインによる相談会、勉強会の開催 等

令和7年度 中学校夜間学級の実施状況（運営費、生徒数、教員配置など）

1 設置目的

中学校夜間学級は、中学校の課程を修了しなかった学齢超過者等に対して、夜間に中学教育を行い、中学校卒業の資格を与えることを目的とする。

2 夜間学級の教育目標

- (1) 仕事と学業と家庭の調和をはかり、目標に向かって最後までやりぬく。
- (2) 思いやりと礼儀と責任を大切にし、友情を育てる。
- (3) 心とからだの調和ある発達をはかる。

《本年度の重点目標》

- ア 基礎学力の定着
- イ 学習指導の個別化と指導法の研究
- ウ 自主的な集団活動の育成
- エ 文部科学省委託研究の推進

3 夜間学級経営方針

- (1) 教育目標の達成をめざし、生徒の状況に応じた基礎学力の定着をはかる。
- (2) 多文化異年齢集団の中で心のふれあいを大切にし、信頼関係を深める。

4 生徒数（令和7年3月7日現在）

(1) 人数内訳

1年	2年	3年	合計
4	9	6	19

(2) 国籍別生徒数

	ネパール	中国	日本	ミャンマー	フィリピン	合計
合計	3	2	10	3	1	19

(3) 年齢別生徒数

	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	合計
合計	12	3	0	1	1	2	0	19

(4) 住所別生徒数

居住地・市	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	栄区	戸塚区	泉区	瀬谷区	町田市	合計
計	1	2	1	1	3	2	1	0	0	2	1	1	0	0	1	0	2	0	1	19

(5) 生徒数の経年変化

校名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
鶴 見	統合										
浦島丘	統合										
西	統合										
仲尾台	統合										
蒔 田	20 (16)	22 (18)	23 (20)	29 (24)	38 (30)	31 (25)	19(16)	17(9)	17(9)	17(11)	22(12)
合 計	20 (16)	22 (18)	23 (20)	29 (24)	38 (30)	31 (25)	19(16)	17(9)	17(9)	17(11)	22(12)

() 内は外国籍生徒

5 職員体制

(1) 職員数 校長 1 人・副校長 2 人・養護教諭 1 人

専任教諭 5 人・教科担当講師 10 人・学習支援サポーター 4 人

(2) 勤務時間・内容

・専任教諭 13:00～21:30

*夜間学級の運営・実施

*昼間：校務分掌、会議、部活動等

・教科担当 担当時間(必要時間/日)

*日本語での教科指導

・学習支援サポーター 16:15～20:15(各週 3 日)

*中国語・タガログ語・ネパール語・英語での学習支援

・養護教諭 13:00～21:30 (令和 4 年まで 15:00～21:00(週 5 日、29 時間の非常勤))

*応急対応、健康診断、保健指導、健康相談

(3) 担当一覧 ◎専任教諭

	氏 名	教 科	校 務 分 掌
校 長	本 多 幸 生		
副校長	松 本 庸 之		
副校長	堀 尾 典 臣		
◎教 諭	高 橋 順 子	国 語	保健指導部
◎教 諭	岡 田 晃	社 会	特活指導部
◎教 諭	樹 所 達 矢	数 学	生活指導部
◎教 諭	田 邊 愛	理 科	学習指導部
◎教 諭	永 井 まど佳	英 語	特活指導部
講 師	堀 江 稻 子	国 語	
講 師	近 藤 正 訓	社 会	
講 師	柴 崎 達 夫	数 学	
講 師	田 中 直 美	理 科	
講 師	岡 崎 久 恵	音 楽	
講 師	富 山 恵美子	美 術	
講 師		保健体育	
講 師	門 脇 夏 月	技 術	
講 師	中 村 万里子	家 庭	
講 師	橋 本 尚 生	英 語	
◎養護教諭	駿 河 葵	養 護	保健指導部

学習支援サポーター (中 国 語 : 廖 芳 蘭 : 水曜日、木曜日、金曜日)

(タガログ語: 小島 コラゾン : 月曜日、火曜日、木曜日)

(ネパール語: 川田 晃弘 : 月曜日、火曜日、水曜日)

(英語 : 森山 美智代 : 月曜日、水曜日、金曜日)

6 時間割

		月			火			水			木			金		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	16:00~16:40	課題別学習（読書）			課題別学習			課題別学習			課題別学習（漢字）			課題別学習		
		⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田	⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田	⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田	⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田	⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田
		樹所		高橋	樹所		高橋	樹所		高橋	樹所		高橋	樹所		高橋
HR	16:45~16:50	H R			H R			H R			H R			H R		
2	16:55~17:35	理科	社会	国語	総合	総合	総合	英語	数学	社会	理科	英語	国語	学・道	学・道	学・道
		⑤⑥ 田邊	③④ 岡田	①② 高橋 樹所	⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田	⑤⑥ 永井	③④ 樹所 高橋	①② 岡田	⑤⑥ 田邊	③④ 永井	①② 高橋 岡田	⑤⑥ 永井	③④ 田邊	①② 岡田
		田中直	近藤	堀江	樹所		高橋	橋本	柴崎	近藤	田中直	橋本	堀江	樹所		高橋
3	17:40~18:20	国語	理科	英語	音楽	数学	理科	数学	英語	技家	国語	理科	数学	国語	英語	美術
		⑤⑥ 高橋	③④ 田邊	①② 永井	音楽室	③④ 樹所 高橋	①② 田邊	⑤⑥ 樹所 高橋	③④ 永井	特別教室	⑤⑥ 高橋	③④ 田邊	①② 樹所 岡田	⑤⑥ 高橋	③④ 永井	美術室
		堀江	田中直	橋本	永井	柴崎	田中直	柴崎	橋本	岡田	堀江	田中直	柴崎	堀江	橋本	田邊
休み	18:20~18:45	教室：高橋 体育館：樹所			教室：永井			教室：岡田 体育館：田邊			教室：樹所			教室：高橋 体育館：岡田		
4	18:45~19:25	社会	国語	保体	社会	音楽	数学	技家	保体	英語	数学	国語	英語	保体	美術	国語
		⑤⑥ 岡田	③④ 高橋 田邊	グラウンド A	⑤⑥ 岡田	音楽室	①② 樹所 高橋	特別教室	グラウンド	①② 永井	⑤⑥ 樹所 田邊	③④ 高橋 岡田	①② 永井	グラウンド A	美術室	①② 富山 高橋 永井
		近藤	堀江	樹所 永井	近藤	田邊	柴崎	高橋	岡田 田邊	橋本	柴崎	堀江	橋本	岡田 田邊	樹所	堀江
5	19:30~20:10	英語	保体	社会	数学	社会	音楽	保体	技家	数学	英語	数学	理科	美術	国語	保体
		⑤⑥ 永井	グラウンド A	①② 岡田	⑤⑥ 樹所 永井	③④ 岡田	音楽室	グラウンド A	特別教室	①② 門脇 中村万 樹所 田邊	⑤⑥ 永井	③④ 樹所 岡田	①② 田邊	美術室	③④ 富山 高橋 岡田	グラウンド A
		橋本	樹所 田邊	近藤	橋本	柴崎	近藤	高橋	岡田 永井	柴崎	橋本	田中直	田邊	田邊	堀江	樹所 永井
清掃	20:10~20:20	清掃・除菌			清掃・除菌			清掃・除菌			清掃・除菌			清掃・除菌		
HR	20:20~20:30	H R			H R			H R			H R			H R		
廖（中国語） 小島（タガログ語） 川田（ネパール語） 森山（英語）		16:15~20:15 16:15~20:15 16:15~20:15			16:15~20:15 16:15~20:15			16:15~20:15 16:15~20:15 16:15~20:15			16:15~20:15 16:15~20:15			16:15~20:15		

7 年間行事予定

月／日	曜	行 事 及 び 内 容	場 所	参 加 体 制	備 考
4／7	月	入学式・前期始業式	蒔 田 中	夜間生徒	
6／6	金	遠足	浅草方面	夜間生徒	
6／20	金	避難訓練	蒔 田 中	夜間生徒	
6／25	水	芸術鑑賞（歌舞伎鑑賞教室）	青少年センター紅葉坂ホール	夜間生徒	
7／9	水	球技大会	蒔 田 中	夜間生徒	
7／18	金	夏季休業前授業最終日	蒔 田 中	夜間生徒	
8／26	火	夏季休業後授業開始日	蒔 田 中	夜間生徒	
9／11	木	進路（卒業生の話）	蒔 田 中	夜間生徒	
9／20	金	体育祭	蒔田中グラウンド	昼間夜間生徒	
10／10	金	前期終業式	蒔 田 中	夜間生徒	
10／14	火	後期始業式	蒔 田 中	夜間生徒	
10／16	木	花ノ木祭（合唱コンクール）	横浜商業高等学校	昼間夜間生徒	
10／17	金	花ノ木祭（ステージ・展示）	蒔 田 中	昼間夜間生徒	
11/9~10	日月	修学旅行	日光鬼怒川方面	夜間生徒（3年生）	
12／2	火	避難訓練	蒔 田 中	夜間生徒	
12／10	水	情報モラル講演会	蒔 田 中	夜間生徒	
12／25	木	冬季休業前授業最終日	蒔 田 中	夜間生徒	
1／6	火	冬季休業後授業開始日	蒔 田 中	夜間生徒	
2／20	金	球技大会	蒔田中体育館	夜間生徒	
3／4	水	感謝を伝える会	蒔 田 中	夜間生徒	
3／10	火	卒業証書授与式	蒔 田 中	夜間生徒	
3／25	水	修了式	蒔 田 中	夜間生徒	

8 教科指導内容

※[]のアルファベットは、クラスを表します。

国 語

目標：国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

内容：正しい日本語の習得を目指し、平仮名、片仮名、漢字、単語や言葉の意味を中心に学習を行う。文章読解、詩や俳句、短歌の鑑賞も行う。

1年：[A]漢字の読み書き、絵日記・詩づくり、書写、文章読解、手紙の書き方、作文

[B]みえこさんの日本語、平仮名、片仮名、漢字の読み書き、書写、手紙の書き方

2年：[A]漢字の読み書き、書写、短歌づくり、文法、文章読解、手紙の書き方、作文

[B]続みえこさんの日本語、漢字の読み書き、短歌づくり、書写、手紙の書き方、作文

3年：[A]漢字の読み書き、短歌づくり、文章読解、敬語、書写、面接練習、作文

[B]漢字の読み書き、短歌づくり、文章読解、敬語、書写、面接練習、作文

社 会

目標：我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

内容：地理的分野、歴史的分野、公民的分野とも生活をする上で必要な知識の習得を目指す。

1年：[A]世界の様々な地域、原始と古代の日本、中世の日本

[B]Aの内容の基礎のみ

2年：[A]日本の様々な地域、中世の日本、近世の日本

[B]Aの内容の基礎のみ

3年：[A]近代・世界大戦と日本、憲法・人権・政治

[B]Aの内容の基礎のみ

数 学

目標：数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。

内容：基礎力の必要な生徒には加減乗除の基礎を指導する。事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだす力を身に付けさせ、応用問題を解答できるように指導する。

1年：[A]教科書の内容

[B]計算練習、1年の内容の基礎のみ

2年：[A]教科書の内容、及び1年の復習

[B]計算練習、2年の内容の基礎のみ

3年：[A]教科書の内容、及び3年間のまとめ

[B]計算練習、3年の内容の基礎のみ

理 科

目標：自然の事物・現象に進んで関わり、理科の見方、考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。

内容：身近な現象について、日常生活を関連付けながら、科学的に探究できるように指導する。

1年：[A]植物、大地、身近な物理現象、身の回りの物質

2年：[A]動物、気象、化学変化と原子と分子、電流と磁界

3年：[A]遺伝、地球と宇宙、運動とエネルギー、イオン

音 楽

目標：音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を培う。

内容：歌唱・器楽・鑑賞を中心に授業を行い、楽しさを引き出すよう工夫する。

1年：歌唱（エーデルワイス、上を向いて歩こう）、楽譜の読み方（譜表・音符・休符）、合唱
鑑賞（美女と野獣）、キーボード演奏、箏演奏、リズムアンサンブル

2年：歌唱（L-O-V-E）、オーケストラの魅力（楽器と編成）、合唱

リコーダー演奏（アルトリコーダー）、箏演奏、鑑賞

3年：歌唱（マイバラード、Memory、Believe）、アレンジ（編曲）の楽しみ、合唱

鑑賞（パフォーマンスの魅力）、リズムアンサンブル、拍子とリズム（複合拍子）

美 術

目標：美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を培う。

内容：基礎的な知識の習得と作業を中心に、絵画・工作・工芸等を体験することにより、創造する喜びを味わえるよう工夫する。

1年：桜を描く、ライトスクラッチ、陶芸、ウェットインウェット技法、あじさいを描く
色彩の基礎（12色相環）、レタリング（絵文字）、透視図法、鑑賞

2年：桜を描く、ライトスクラッチ、陶芸、ウェットインウェット技法、あじさいを描く
木彫、レタリング（絵文字）、鑑賞

3年：桜を描く、ライトスクラッチ、陶芸、ウェットインウェット技法、あじさいを描く
立体表現（紙粘土、篆刻、木彫から選択）、鑑賞

保健体育

目標：心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

内容：誰でも楽しめる運動を取り入れ、基礎的な体力を養い、健康的な生活を送ることを目指す。

1年：体づくり運動、陸上競技、バドミントン、バレーボール、サッカー、テニス、卓球、柔道、保健

2年：体づくり運動、陸上競技、バドミントン、バレーボール、サッカー、テニス、卓球、柔道、保健

3年：体づくり運動、陸上競技、バドミントン、バレーボール、サッカー、テニス、卓球、柔道、保健

技術・家庭

目標：生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

内容：裁縫や調理実習、材料加工、PCの活用を行い、生活に根ざした学習を行う。

1年：木工加工、LEDライト製作、フォトフレームづくり、エプロンづくり、調理実習、プラモデル

2年：電子工作、PCの基本操作、プログラミング、刺し子巾着、調理実習、プラモデル

3年：金属鑄造、ソフトウェアの活用、プログラミング、スウェーデン刺繍、調理実習、プラモデル

外国語

目標：外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を養う。

内容：英単語・英文法・英作文の学習。英語の歌や映画を教材に使用して、楽しみながら英語力の向上を目指す。

1年：[A]教科書の応用、スピーチ

[B]教科書の内容 文法、英語の歌

2年：[A]教科書の応用、リスニング練習、映画視聴

[B]教科書の内容 文法、英語の歌

3年：[A]教科書の応用、スピーチ、会話練習

[B]教科書の内容、文法、英検対策

道徳

目標：学校の教育活動全体を通じて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える。人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

内容：道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。日本の習慣や規則を理解するとともに、多様な感じ方や考え方に接しながら、考えを深め、判断し、表現する力を育むことに重点を置く。

1年：目標への強い意志、向上心、個性の伸長、公德心、よりよい学校生活、思いやり
感謝、自主・自立、礼儀、勤労、友情、信頼、国際理解、よりよく生きる喜び

2年：自律の精神、個性の尊重、心身の健康、礼儀、法や決まり、自己の向上、奉仕の心
役割と責任、友情、信頼、差別や偏見がない社会、希望と勇気、思いやり、感謝

3年：信頼、温かい心、社会の一員として、理想の実現、生命の尊さ、自然への畏敬
社会への奉仕、礼儀の意義、社会の秩序、学校や仲間への誇りを持つ、生きる喜び

総合的な探究の時間

目標：探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。

内容：学校行事などを体験しながら、実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

1年：各種行事の体験、課題設定、課題解決、学びに向かう力

2年：各種行事の体験、課題設定、課題解決、自己の理解

3年：各種行事の体験、課題設定、課題解決、自分づくり

特別活動

目標：多様な他者と協働する様々な集団活動を行う上で必要になることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

内容：儀式や体育祭、遠足、花ノ木祭（文化祭）などの学校行事を通して、生徒が役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。

1年：心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の育成、異年齢集団による交流

2年：現在及び将来の学習と自己実現とのつながり、異年齢集団による交流

3年：役割の自覚、主体的な進路選択と将来設計、異年齢集団による交流

9 運営費

(単位：千円)

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7元年
予算	5,906	5,906	7,826	8,165	8,896	7,430
決算	3,796	3,328	4,981	5,772	6,068	—

資料17

令和 7 年 9 月 2 6 日
教 育 委 員 会 事 務 局
教職員人事課長 片山 哲夫
TEL 6 7 1 - 3 2 2 6

教職員執務環境支援事業の実施状況

○職員室業務アシスタント

1. 概要

教職員の事務作業等を補助する非常勤職員の配置

(主な業務内容)

- ・資料印刷や各種調査のデータ入力等の補助
- ・電話の取次ぎや来客受付
- ・郵便物等の仕分け

2. 実施状況

実施年度	実施形態	配置校数	校種別配置校
平成 27 年度	試行実施	13 校	小学校 7 校、中学校 6 校
平成 28 年度	試行実施	8 校	小学校 8 校
平成 29 年度	本格実施	30 校	小学校 30 校
平成 30 年度	本格実施	180 校	小学校 129 校、中学校 51 校
令和元年度	本格実施	486 校	全小・中・義務教育学校
令和 2 年度	本格実施	484 校	全小・中・義務教育学校
令和 3 年度	本格実施	485 校	全小・中・義務教育学校
令和 4 年度	本格実施	484 校	全小・中・義務教育学校
令和 5 年度	本格実施	483 校	全小・中・義務教育学校
令和 6 年度	本格実施	496 校	全小・中・義務教育・特別支援学校
令和 7 年度	本格実施	496 校	全小・中・義務教育・特別支援学校

※令和元年度より「職員室業務アシスタント配置事業」に事業名を変更

令和6年度 放課後学び場事業の実施状況

1 実施校数

105 校（小学校 39 校、中学校 66 校）

令和7年9月26日
教育委員会事務局
学校支援・地域連携課長 大峽 誠
電話 671-3239

2 実施場所（単位：校）

	小学校	中学校	合計
普通教室他	31	57	88
コミュニティハウス	5	5	10
地域ケアプラザ	1	2	3
その他	2	2	4

3 開催頻度（単位：校）

	小学校	中学校	合計
週1回	20	23	43
週2回以上	4	12	16
定期テスト前	2	17	19
長期休業中	1	7	8
その他	8	10	18

4 1回あたりの平均参加児童生徒数（単位：校）

	小学校	中学校	合計
10人未満	4	27	31
10人～20人	15	31	46
21人以上	20	8	28

5 1回あたりの平均ボランティア人数

（単位：校）

	小学校	中学校	合計
0人	0	0	0
1人以上～5人以内	23	55	78
6人以上～10人以内	13	8	21
11人以上	3	3	6

6 メンバー構成

(1) 中心的役割を担う人材

大学生、学校・地域コーディネーター、教員OBボランティア、教職員（管理職、生徒指導専任教員、数学担当教諭）等

(2) 学習支援にたずさわるボランティア

大学生、地域住民、教員OBボランティア、高校生等

7 教職員の事業への関わり方（一例）

○プリントの用意や生徒への周知

○ボランティアへの指導方法のアドバイス、定期的なボランティアとの情報交換

8 活動費の用途（一例）

ボランティア謝金（交通費実費程度）指導書、参考書、事務用品、用紙等の購入

9 参加者（児童・生徒）への効果（学校からの意見）

○地域の方、ご高齢の方、外国人留学生とのふれあいを通して、ボランティアの方への感謝の気持ちをもてるようになった

○マンツーマンに近い形で学習支援していただけるので、ボランティアとの信頼関係が築け、学習以外の相談にも乗っている様子が見られる

10 企業・NPO法人等運営型について

ボランティアが集まらずに事業を実施できない学校でも実施できるよう、令和4年11月から7校で、企業やNPO法人等に委託する形で実施している。

令和6年度 放課後学び場事業実施校一覧(小学校)

小学校

区	学校名	実施方法2
鶴見区	入船小	配当
鶴見区	潮田小	委託
鶴見区	獅子ヶ谷小	委託
神奈川区	羽沢小	配当
神奈川区	菅田の丘小	委託
神奈川区	神奈川小	委託
西区	浅間台小	委託
西区	平沼小	委託
西区	宮谷小	委託
中区	本牧南小	委託
南区	南吉田小	配当
南区	石川小	委託
港南区	下野庭小	委託
港南区	芹が谷小	委託
港南区	永谷小	委託
保土ヶ谷区	仏向小	委託
旭区	都岡小	委託
旭区	若葉台小	委託
磯子区	根岸小	委託
磯子区	梅林小	委託
磯子区	磯子小	委託
磯子区	さわの里小	委託

区	学校名	実施方法2
金沢区	釜利谷小	委託
金沢区	朝比奈小	委託
金沢区	瀬ヶ崎小	委託
港北区	日吉南小	委託
緑区	竹山小	配当
青葉区	藤が丘小	委託
青葉区	山内小	委託
都筑区	山田小	委託
都筑区	北山田小	委託
都筑区	東山田小	委託
都筑区	荏田南小	委託
戸塚区	東汲沢小	委託
戸塚区	東俣野小	委託
栄区	飯島小	委託
泉区	飯田北いちょう小	配当
泉区	いずみ野小	委託
瀬谷区	原小	委託

委託実施型	34
学校配当型	5
合計	39

令和6年度 放課後学び場事業実施校一覧(中学校)

中学校

区	学校名	実施方法
鶴見区	市場中	配当
鶴見区	寺尾中	配当
鶴見区	寛政中	配当
鶴見区	上の宮中	委託
神奈川区	菅田中	配当
西区	軽井沢中	委託
西区	岡野中	委託
西区	老松中	委託
中区	本牧中	委託
中区	横浜吉田中	配当
南区	永田中	委託
南区	南が丘中	配当
南区	六ツ川中	配当
港南区	笹下中	委託
港南区	上永谷中	委託
港南区	丸山台中	配当
港南区	日限山中	配当
保土ヶ谷区	橋中	委託
保土ヶ谷区	新井中	委託
旭区	左近山中	委託
旭区	都岡中	委託
旭区	若葉台中	委託
旭区	旭中	企業・NPO
旭区	鶴ヶ峯中	企業・NPO
旭区	本宿中	企業・NPO
旭区	南希望が丘中	企業・NPO
磯子区	岡村中	委託
磯子区	洋光台第二中	委託
磯子区	根岸中	委託
磯子区	森中	配当
金沢区	六浦中	委託
金沢区	小田中	委託
金沢区	大道中	委託

区	学校名	実施方法
港北区	高田中	委託
港北区	樽町中	配当
港北区	篠原中	企業・NPO
港北区	高田中	企業・NPO
港北区	日吉台西中	企業・NPO
緑区	東鴨居中	委託
緑区	十日市場中	配当
緑区	鴨居中	委託
青葉区	緑が丘中	委託
青葉区	奈良中	委託
青葉区	市ヶ尾中	委託
青葉区	すすき野中	委託
青葉区	山内中	委託
青葉区	あかね台中	委託
青葉区	みたけ台中	委託
青葉区	谷本中	委託
都筑区	東山田中	委託
都筑区	中川西中	委託
都筑区	川和中	委託
戸塚区	戸塚中	委託
戸塚区	境木中	委託
戸塚区	汲沢中	委託
戸塚区	深谷中	委託
栄区	桂台中	委託
栄区	小山台中	委託
栄区	西本郷中	委託
栄区	本郷中	配当
栄区	上郷中	委託
栄区	飯島中	委託
泉区	領家中	委託
泉区	上飯田中	配当
泉区	岡津中	配当
瀬谷区	原中	委託

委託実施型	44
学校配当型	15
企業・NPO	7
合計	66

資料19

個別支援級（特別支援学級）の各区ごとの数と、5年間の推移

令和7年9月26日
教育委員会事務局
教育政策推進課担当課長 林 正隆
電話：671-3771

小学校

学 校 別	学級数				
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
鶴 見 区	143	132	125	107	100
神 奈 川 区	85	74	67	61	58
西 区	43	39	34	32	28
中 区	39	35	33	31	27
南 区	87	81	72	66	66
港 南 区	94	89	84	80	69
保 土 ケ 谷 区	82	74	68	63	54
旭 区	99	95	92	84	78
磯 子 区	81	74	63	60	51
金 沢 区	82	77	71	68	54
港 北 区	135	122	116	101	88
緑 区	85	79	74	66	61
青 葉 区	111	99	94	87	82
都 筑 区	95	88	76	69	62
戸 塚 区	143	129	114	110	97
栄 区	55	53	50	47	44
泉 区	69	62	59	57	52
瀬 谷 区	54	54	49	47	43
合 計	1,582	1,456	1,341	1,236	1,114

中学校

学 校 別	学級数				
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
鶴 見 区	38	35	35	33	34
神 奈 川 区	23	23	20	21	20
西 区	10	8	8	9	9
中 区	14	16	15	13	12
南 区	33	28	25	25	22
港 南 区	33	32	24	23	20
保 土 ケ 谷 区	25	23	24	24	24
旭 区	40	37	36	35	33
磯 子 区	22	24	20	19	18
金 沢 区	26	24	23	22	24
港 北 区	32	28	28	29	31
緑 区	20	21	19	19	20
青 葉 区	35	35	33	26	27
都 筑 区	29	25	23	23	22
戸 塚 区	42	40	38	37	35
栄 区	16	16	16	14	15
泉 区	22	24	24	25	25
瀬 谷 区	23	20	21	21	20
合 計	483	459	432	418	411

出展：市立学校現況（5月1日現在）

令和7年9月26日
 教育委員会事務局
 教育施設課担当課長 杉浦 達彦
 電話 671-3502

1 体育館空調設置校一覧（令和7年3月31日時点）（学校建替、体育館大規模改修を含む）

区	学校名
鶴見区	鶴見小学校(R3)、下末吉小学校(R3)、末吉小学校(R4)、汐入小学校(R5)、矢向中学校(R5)、新鶴見小学校(R6)、市場小学校(R6)
神奈川区	中丸小学校(R3)、神大寺小学校(R4)、子安小学校(R4)、盲特別支援学校(R4)、西寺尾小学校(R5)、三ツ沢小学校(R5)、西寺尾第二小学校(R6)、菅田の丘小学校(R6)、白幡小学校(R6)
西区	老松中学校(R3)、一本松小学校(R4)、戸部小学校(R5)、稲荷台小学校(R6)
中区	立野小学校(R1)、本牧南小学校(R2)、本牧小学校(R4)、大鳥中学校(R5)、みなと総合高等学校(R6)
南区	藤の木小学校(R3)、共進中学校(R3)、永田小学校(R4)、永田台小学校(R4)、永田中学校(R5)、井土ヶ谷小学校(R5)、南太田小学校(R5)、中村小学校(R6)
港南区	南台小学校(R3)、港南台ひの特別支援学校(R4)、相武山小学校(R5)、永谷小学校(R5)、丸山台小学校(R6)、日野南中学校(R6)
保土ヶ谷区	峯小学校(R3)、権太坂小学校(R3)、仏向小学校(R4)、ろう特別支援学校(R4)、帷子小学校(R5)、上菅田笹の丘小学校(R5)、保土ヶ谷小学校(R6)、坂本小学校(R6)
旭区	鶴ヶ峯小学校(R3)、左近山特別支援学校(R3)、若葉台特別支援学校(R3)、旭北中学校(R4)、左近山小学校(R5)、今宿小学校(R5)、若葉台小学校(R6)
磯子区	梅林小学校(R2)、さわの里小学校(R2)、浜小学校(R4)、山王台小学校(R4)、森東小学校(R5)、岡村中学校(R5)、汐見台小学校(R5)、根岸中学校(R6)
金沢区	西富岡小学校(R3)、小田小学校(R4)、富岡中学校(R4)、釜利谷東小学校(R5)、能見台小学校(R6)
港北区	日吉南小学校(R1)、港北小学校(R3)、大曾根小学校(R3)、日吉台西中学校(R3)、新羽中学校(R3)、大綱小学校(R4)、新吉田第二小学校(R5)、菊名小学校(R6)、篠原小学校(R6)
緑区	中山小学校(R3)、長津田小学校(R4)、緑小学校(R5)、鴨居中中学校(R5)、十日市場小学校(R6)、森の台小学校(R6)、上山小学校(R6)
青葉区	荏田西小学校(R3)、青葉台中学校(R3)、美しが丘西小学校(R4)、谷本中学校(R4)、新石川小学校(R5)
都筑区	茅ヶ崎東小学校(R3)、中川西中学校(R4)、茅ヶ崎台小学校(R5)、都田中学校(R6)、勝田小学校(R6)
戸塚区	川上北小学校(R2)、豊田中学校(R3)、名瀬中学校(R3)、矢部小学校(R4)、名瀬小学校(R4)、横浜深谷台小学校(R5)、下郷小学校(R6)
栄区	西本郷小学校(R3)、上郷小学校(R4)、本郷特別支援学校(R4)、上郷中学校(R4)、本郷小学校(R5)、本郷台小学校(R6)
泉区	中和田南小学校(R3)、緑園義務教育学校(R3)、新橋小学校(R4)、いずみ野小学校(R5)、上飯田中学校(R5)、中田小学校(R6)
瀬谷区	三ツ境小学校(R4)、瀬谷さくら小学校(R5)、南瀬谷小学校(R6)

2 体育館空調設備設置事業 令和7年度空調機設置予定校（22校）

区	学校名
鶴見区	東台小学校、生麦小学校
神奈川区	青木小学校、六角橋中学校
西区	平沼小学校
保土ヶ谷区	宮田中学校
港北区	箕輪小学校、高田小学校、新田中学校、師岡小学校
青葉区	美しが丘小学校、美しが丘東小学校、あざみ野中学校
都筑区	都筑小学校、山田小学校、東山田小学校、東山田中学校、
戸塚区	平戸中学校、大正小学校、大正中学校、東俣野小学校
栄区	笠間小学校

〔参考〕体育館大規模改修 令和7年度予定校（4校）

樽町中（港北）、北綱島小（港北）、東本郷小（緑）、桂台中（栄）

3 特別教室のエアコン設置状況

音楽室 H24までに全校整備済

図書室、理科室、調理室（小学校は家庭科室）、美術室（小学校は図工室） 令和元年度までに全校整備済

第二特別教室 学校毎の要望・利用頻度に応じて、体育館空調整備等にあわせ整備中